

自動車 CFR(T)P 産業の実際現場とビジネス展開

講師：影山裕史 氏 金沢工業大学 大学院工学研究科

高信頼性ものづくり専攻 教授（前トヨタ自動車）

近年、自動車用材料として CFR(T)P が注目され、スーパーカーだけではなく、BMW i3 やトヨタ Mirai などの電気自動車 (EV) や燃料電池自動車 (FCV) といった量産レベルの環境車両にも採用されるようになってきた。今後も大きな期待がかけられる材料である。

ただ、CO₂問題などに大きく貢献するには数を出していく必要があり、そのためには CFR(T)P ならではの設計や大量生産技術、更にはビジネス展開が必要になる。CFR(T)P は、まだまだこれらを推し進めていく面での課題も多く、ここでは、さまざまな観点から自動車 CFR(T)P 材料の課題を共有するとともに、開発の方向性を理解し、一対策案に関して議論してみたい。

<講師略歴>

1981年 東京工業大学 有機材料工学修士課程修了後、トヨタ自動車工業(株) (現在、トヨタ自動車(株)) に入社。自動車軽量材料の量産技術開発に従事。東富士研究所での CFRP やバイオプラスチックの研究開発を含む。2014年に同社定年退職後、金沢工業大学にて学の立場で勉強開始。

開催日時	2016年8月24日(水) 13:00~16:50	【会場】:『あすか会議室 神田小川町』 4階401会議室
受講料	49,000円(税込) ※ 資料代金 * メルマガ登録者は 44,000円(税込)	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1-7 日本地所第7ビル

【本セミナーのプログラム】

- | | |
|---|---|
| <p>I 編 自動車業界から求められる CFR(T)P</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自動車と CFR(T)P の歴史 2 自動車と CFRP の動向 3 自動車カーボンの種類 <p>II 編 課題編</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 章 技術面 <ol style="list-style-type: none"> 1 材料改良 2 設計改良 3 成形加工の課題 4 接着の課題 5 異種材料接合の実際 (反りなど) 2 章 ビジネス面 <ol style="list-style-type: none"> 1. LCA と対策 2. コストと対策 | <ol style="list-style-type: none"> 3. 後工程 (接合、塗装) と対策 4. 商品性と対策 5. 欧州の事例 6. 各業種に対して <ol style="list-style-type: none"> 6.1 化学メーカー 6.2 設計メーカー 6.3 接着メーカー 3 章 セルロースナノファイバーの使われ方 <p>III 編 課題解決への方法編</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 穴あけ加工技術 2. レーザー微細加工技術 3. 接着接合技術 4. 表面加工処理技術 5. リサイクル |
|---|---|

弊社記入欄		セミナー申込書	
セミナー名	自動車 CFR(T)P 産業の実際現場とビジネス展開		
所定の事項にご記入下さい	会社名 (団体名)	TEL :	
	住所 〒	FAX :	
		E-mail :	
	部署	役職	氏名
お支払方法	銀行振込・その他		お支払予定 2016年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上、FAX または E-mail でお申し込みください。(E-mail での申し込みは re@cmcre.com)

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789